前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人)	こあって	は名称)					は主たる事業	折の所在地	1)
T 712-8074					5涌1丁目14番	£ 5			
本票作成	部署名:	技術部			121 20 2	3, (1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	1/611 1/11		
主たる業績	/\ \\(\sqrt{\text{first}}		廃棄物処3						
	!	ļ. ļ.				-	2 -t- \ \(\tau \tau \tau \tau \tau \tau \tau \tau		. Al Nida
		一般廃棄物,水 、副生された精						勿を, ガン	ス化浴
	番号	工場	景等の名称				斤 在	地	
	① 水	島エコワークス	株式会社		倉	敷市水島川崎	節通1丁目1	4番5	
県内の									
主な									
工場等									
特定事業の該当要	7-1	燃料等原油換算1,						20₂換算3,00	
の政司安日	+ (• -	Ľ場等の数	1		■単四	可台数(②該	当の場合)		台)
温室効果ガ	ス 基準年	F度(平成 26	年度)	(平成 3	80)年	三度排出量	目標年度(令	和 元	年度)
排出量		33,714 t	CO_2		38,8	897 t CO ₂	,	33,714 t	CO_2
	番号		景等の名称			(平成 3	30) 年度排	出量	
	1	水島エコワーク	ス株式会	生			,	38,897 t	
 主な工場等	车 ——								CO_2
の排出量	,1								CO ₂
									CO ₂
									CO ₂
								t	CO ₂
元 日 4人口火		期間: 平	成 27	年度	\sim	令和 元	年度 (5 箇	年度)
削減目標の 達成状況		総排出量基準	(30)年度削減	実績	目標削減	域率	目標達成	÷ ,
7,91710		原単位基準	Δ	19.5	%	3.0	%[□ 達	成 🖸	未達
(医坐压井)	温室効	果ガスの排出量と密	 密接な関係を	 もつ値の内容			位当たり排出		
(原単位基準の削減目標を の削減目標を	を 海安/	効果ガス排出量	(+CO2) / ~	ム加亜島		準年度 (30)年度		
選択している場合に記入)	D 1-		(1002)/ _	《		35.8	281.9	228.	
					t CO ₂	/仟t) t(CO ₂ /(千t)	t CO ₂ /(∃	-τ)
(該当事業		<u>入)</u> 象事業の名称	V11.1	/チマーク打	≟ 抽	関連数値	頁(平成 30	年度)達	成率等
指標の状況		変 ず 未り 石 你		· ノ ヾ 一 ク fl	37示		1(十)从 30	十岁月達	以平守
		ं का / जा र							
【削減状》		<u>評価】</u> E度比でA10 50	/ レわった	ナル畑山	+ N.	下の し わ り			

年間を通じて操業トラブルが多発(稼働率91.3%と低調)し処理能力が上がらず。これによる助燃燃 料LNG使用量や、昇降温・待機時間の電力ロスが増加したため。

今後もさらに、精製合成ガスの回収率のアップ、LNGや電力の使用量の低減など省エネ活動を継続す る。

【推進体制】

- ・省エネルギー法に基づくエネルギー管理規程
- ・環境マネジメントシステム (ISO-14001) 定期審査実施 (1月24~25日)
- ・エネルギーの使用合理化に関する取り組みを、環境マネージメントシステムの取り組みの中で計画 し4回/年のEMS会議で、計画、評価を実施、さらに毎月開催の月次会議で、状況の確認を実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施	<u> 這した措置及び今後の取組】 </u>
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島絵尾ワークス	(30年度実施分) ・2号炉体耐火物補修 ・工場内照明のLED化を実施 (今後実施予定分) ・今後もさらに、精製合成ガスの回収率のアップ、LNGや電力の使用量の低減など省エネ活動を継続する。 ・工場内照明のLED化を実施 ・1号耐火物更新及びガスダクト交換

12	杰林侭	全垒 邸	収源対	・笛への	が出り
1 -	** ///\	+ + 1	「HX <i>イ</i> /宋 X1	W , _ \	ノロメホHI

A / / / I I I I I I	<u> </u>	(
県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

当社設備では、以下特徴を有する。

- ・廃棄物焼却炉で発生したガスは、クリーンアップし精製合成ガスとして、定状時には全量を近隣企業に販売している。
- ・すなわち燃焼に伴うガスを全量有効活用する環境に配慮した設備になっており、他の焼却炉のよう に焼却後の温室効果ガスを煙突から排出していない。